



# 新刊案内

## 事務局

(平成29年5月29日整理分まで。但し、現代俳句協会会員のみ。記載漏れ等がありましたら事務局までご連絡ください)

神奈川県在住「夢」・ふらんす堂

▽ローマから昼下がりで去年今年

『満ち欠け 自由律句集』 いまさい  
れ尚夫

東京都在住「層雲自由律」「群妙」・層雲自由律事業部

▽雨止んで夜が地面に貼り付いた

『俘虜語り』 百瀬石湧子

長野県在住「岳」・花神社

▽若桜少年兵が今卒寿

『長嶺千晶句集』 長嶺千晶

東京都在住「晶」・ふらんす堂

▽残生といふ斑雪野へ出でにけり

『普陀洛記』 大畑 等

遺句集・中山デザイン事務所

▽尻上がりに木魚の狂う桜かな

『青』 杉本青三郎

埼玉県在住「歯車」「豈」・現代俳句協会 展開第3期・3

▽みかん箱の机遠くなる正座

『花まつり』 城 寿子

遺句集・現代俳句協会 展開第2期・10

▽蛩とぶ源泉ぬるき下部の湯

## 句集とその一句

『和草』 矢田和子

福岡県在住「ロマネコンテイ」・文學の森

の森

▽寒昂金と銀との鞍が行く

『日脚』 岡田耕治

大阪府在住「香天」・邑書林

▽それからは悟朗の未来風車

『遠州灘』 大場式子

静岡県在住「港」・角川文化振興財団

▽美しく老いて行きたし酔芙蓉

『羽のある亀』 高野公一

東京都在住「山河」・榎ネクサスライブ

▽天地のしじま糺して鶴歩む

『四照花亭日乗』 久保純夫

大阪府在住・儒良

▽折紙を解くことなく居ずなりぬ

『黄鶴鶴』 鈴木修一

秋田県在住「海程」・文學の森

▽人の名の胸にこだます十三夜

『静かな時間』 山中正己

東京都在住「野の会」「船団の会」・ふらんす堂

らんす堂

▽青ざめたダビデの裸像冬に入る

『開封』 武山 平

宮城県在住「港」・文學の森

▽骨太き大正の祖母扇置く

『一日十句』 松田ひろむ

東京都在住「鷗座」・第三書館

▽人間にお結び芥菜を刻む

『霜柱』 若林波留美

埼玉県在住「紫の會」・東京四季出版

▽ふたたびの呼氣すこやかに青き踏む

『朝桜』 鈴木征子

埼玉県在住・ふらんす堂

▽走り去るマフラーを背に靡かせて

『小町圭選集』 小町 圭